



2011年8月26日  
ホステス株式会社／ホステス・エンタテインメント

プレス・リリース

## ウィチタ・レコーディングス、 再びホステス・エンタテインメントからの日本リリースへ

ホステス・エンタテインメント（会社名：ホステス株式会社 本社：東京都目黒区 代表取締役：アンドリュー・レイズンビー以下ホステス）は、イギリスで最も人気のある独立系レーベルのひとつであるウィチタ・レコーディングス（以下ウィチタ）について、日本国内におけるCDおよびデジタル販売流通・マーケティング・宣伝に関わる業務全般を再び請け負うことになりましたことを、本プレスリリースを通じてお知らせいたします。これにより、ブロック・パーティーのケリー・オケレケやザ・クリプス、シミアン・モバイル・ディスコといったアーティストの作品が、ホステスを通じて日本でリリースされることとなります。

ウィチタは、アラン・マッギー、マーク・ボウエンとともに英国伝説的レーベル、クリエイション・レコーズの運営を支えていたディック・グリーンによって2000年に設立されました。設立から11年の間に、ウィチタはブロック・パーティーやシミアン・モバイル・ディスコ、ザ・クリプス、ベスト・コーストなど、数々の人気アーティストを抱えるレーベルへと成長しました。

この度、ウィチタはユニバーサル傘下コオペレイティブ・ミュージックとの長きに渡る契約を終了し、PIASとの世界的パートナーシップ契約を新たに締結いたしました。この契約により、2003年以来日本におけるPIASのエクスクルーシヴ・パートナーであるホステスが、ウィチタ・レコーディングスについての販売流通・マーケティング・宣伝に関わる業務全般を再び請け負うこととなります。

本年初頭の、ホステスとユニバーサル・ミュージック・グループ・インターナショナル（UMGI）／コオペレイティブ・ミュージックとのライセンス契約終了を受け、一時的に停止していたホステスとウィチタのパートナーシップが、この度こうして改めて再開される運びとなったことを、両社のマネージメントおよびスタッフは大変喜ばしく思います。

「さあさあ、夢のタッグで営業再開だ」マーク・ボウエン（ウィチタ代表）

### 【ホステス・エンタテインメント（Hostess Entertainment）について】

ホステス・エンタテインメントは、日本市場での独自のアイデンティティ確立を目指す厳選された海外アーティストやレーベルの、パッケージ及びデジタル商品全般の国内マネージメント、プロモーション、営業、マーケティング・サービスを展開している。2000年の設立以来、近年日本市場に数多く設立された独立系音楽会社のなかでも、最も斬新かつ刺激的な会社として、その存在感を高めている。これまでにドミノ・レコーディングス、PIASエンタテインメント・グループ、ベガーズ・グループ（XLレコーディングス、ラフ・トレード、4AD、マタドールを含む）などのレーベルと長期に渡りパートナーシップを築きあげ、これまでにアークティック・モンキーズ、モグワイ、レディオヘッド、ベック、ブロック・パーティー、アニマル・コレクティブ、ナイン・インチ・ネイルズ、ソニック・ユース、ヴァンパイア・ウィークエンド、アデル、ザ・エックス・エックスといったアーティストによる作品をリリースしている。日本国内におけるセールス・流通については株式会社ソニー・ミュージックディストリビューションと、また配信サービスと共同マーケティングについては株式会社ソニー・ミュージックネットワークと業務提携契約を結んでいる。

### 【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

ホステス株式会社 プロモーション部  
担当: 榎本 甲  
電話：03-5724-4414  
電子メール：press@hostess.co.jp

Hostess  
Entertainment Unlimited.

